

希望が丘文化公園基本計画（概要）

1 背景

- 社会情勢や利用者ニーズの変化への対応の必要性（開園後40年以上が経過）
- 国体・全スポ開催等に向けたスポーツ・健康づくりの機運の高まり
- 希望が丘文化公園将来ビジョン（平成27年）
 - ・ 基本理念：「人と人」「人と自然」の関わりを深め、心の豊かさを育む公園
 - ・ 老朽化した施設の更新・基本理念を根付かせる取組を含めて基本計画を策定

2 計画期間

- 平成30～34年度（5年間）

3 公園の現状

- 位置
 - ・ 野洲市・湖南市・竜王町にまたがる416ha
- 主な事業概要
 - ・ 主催事業は年間50以上
- 主な施設概要
 - ・ スポーツ施設や青少年宿泊施設、野外活動施設を配置
- 来園者数
 - ・ 近年は年間約90万人

4 公園の役割

(1) 広大なフィールドを活かした交流・憩いの場

安心してのびのびと過ごせる公園の魅力をもっと高め、県内外の方々の交流・憩いの場としての役割を果たす

(2) 多世代でのスポーツ・健康づくりの推進

公園の特徴を活かして全ての人々がスポーツ・健康づくりに取り組める場としての役割を果たす

(3) 貴重な自然を体験し楽しみながら学ぶ場

自然を保護・活用し、多世代で自然を体験し、楽しみながら豊かな人間性などを身につける場としての役割を果たす

※引き続き災害対策上の拠点施設としての役割を果たす

5 具体的な取組

(1) 公園の役割を果たす事業展開

① 交流・憩いの場の提供

- ・ 安心して楽しく遊べる場の提供
- ・ 家族・友人等で交流できる事業展開
- ・ 園内を一体的に利用したプログラム開発
- ・ 近隣商業施設との連携イベントの実施
- ・ 地域活性化の取組の検討

② スポーツ・健康づくりの推進

- ・ 誰もが健康づくりに取り組める事業展開
- ・ 周辺スポーツ施設とも連携した大会等の誘致
- ・ 障害者スポーツの普及促進
- ・ 専門的な人材との連携推進
- ・ スポーツを「支える」部分に参画できる取組

③ 自然を体験し楽しみながら学ぶ場の提供

- ・ 自然を活かすプログラムへの重点化
- ・ 大学や野外活動団体等との連携強化
- ・ 学校等との連携強化によるプログラム開発
- ・ 「やまのこ」事業の受入れ検討
- ・ キャンプリーダーの活躍の場の増加

(2) 安心して快適に利用できる施設の整備

- ユニバーサルデザインを前提に老朽化した施設の点検・改修を進める
- 利用者のニーズを詳細に把握し改修・維持管理を実施する

① スポーツ施設

- ・ 陸上競技場、球技場、芝生ランド：芝生・グラウンド、観客席の整備など優先的改修(※)
- ・ スポーツ会館：交流・憩いの場、スポーツ・健康づくりの推進拠点として改修を実施(※)
- ・ テニスコート、野球場：多数の利用があり引き続き維持
- ・ ソフトボール場、草野球場、格技場：稼働率が低く用途等を見直し

※概算事業費は総額で約19億円を想定

② 青少年宿泊研修所、野外活動施設

- ・ 自然を活かした取組を重点的に進めるエリアとして活性化に向けた方策の検討
- ・ 利用上の課題・新たなニーズへの対応等改修にかかる検討
- ・ 規模適正化、収益力向上の取組検討

(3) 公園の役割・魅力のPR

- ・ 役割・魅力をPRする新たな名称の検討
- ・ 周辺施設、市町と連携した広報

(4) 利便性の向上

- ・ 「ビワイチ・プラス」による自転車観光の推進と連携した自転車のコース設定
- ・ 園内外アクセスの利便性向上

(5) 管理運営のあり方

- ・ 幅広いアイデアを生かした管理運営
- ・ 収益力の向上や多様な財源を活用
- ・ アンケート等による本計画の取組の評価